



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場会社名 株式会社 日清製粉グループ本社

上場取引所 東 大

コード番号 2002 URL <http://www.nisshin.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大枝 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 総務本部広報部長 (氏名) 稲垣 泉

TEL 03-5282-6650

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	108,570	2.6	6,791	△6.2	7,824	△4.4	4,552	3.8
23年3月期第1四半期	105,780	△7.5	7,243	16.3	8,181	13.3	4,387	2.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 4,666百万円 (35.5%) 23年3月期第1四半期 3,443百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	18.32	—
23年3月期第1四半期	17.66	17.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	394,061	288,026	71.2
23年3月期	389,418	285,249	71.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 280,682百万円 23年3月期 278,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	218,800	4.6	11,200	△9.6	12,200	△10.9	7,000	1.0	28.17
通期	447,400	5.5	24,600	△2.9	27,000	△3.0	15,100	6.4	60.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、【添付資料】P. 4「サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、【添付資料】P. 4「サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期1Q	251,535,448 株	23年3月期	251,535,448 株
24年3月期1Q	3,042,760 株	23年3月期	3,045,423 株
24年3月期1Q	248,491,842 株	23年3月期1Q	248,490,894 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

[当第1四半期の概況]

当第1四半期につきましては、3月11日に発生した東日本大震災の影響により製造業全般で生産活動が低下し、また、自粛ムードの広がりから個人消費が低迷するなど厳しい環境でしたが、主要食糧である小麦粉及び各種製品の安定供給に最大限の努力を払うと共に、製粉事業においてお客様との更なる関係強化を図るなど販売促進に努めました。一方、食品事業などにおいて、引き続き生産、物流各方面においてコストダウンに取り組みました。

そのような中、本年4月に輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均18%引き上げられたことを受け、業務用小麦粉の価格改定を実施いたしました。また、加工食品に関しましても、7月1日から価格改定を実施することを発表いたしました。

この結果、第1四半期の業績は、製粉事業及び食品事業において出荷が好調に推移し、売上高は1,085億70百万円（前年同期比102.6%）となりました。利益面では、製粉事業におけるふすま価格の低迷や拡販施策費用の投入等により、営業利益は67億91百万円（前年同期比93.8%）、経常利益は78億24百万円（前年同期比95.6%）、また、昨年オリエンタル酵母工業㈱及び㈱NBCメッシュテックを100%子会社とした影響により四半期純利益は45億52百万円（前年同期比103.8%）となりました。

[セグメント別営業概況]

①製粉事業

製粉事業につきましては、お客様との関係強化に注力し、積極的な販売促進活動に努めた結果、業務用小麦粉の出荷は前年を上回りました。また、輸入小麦の政府売渡価格が本年4月に5銘柄平均で18%引き上げられたことを受け、本年6月に業務用小麦粉の価格改定を実施いたしました。

生産・物流面では、引き続き生産性向上の取組みを推進するとともに、安心・安全対策に注力してまいりました。

副製品であるふすまにつきましては、震災の影響もあり価格は低調に推移しました。

海外事業につきましては、昨年カナダの子会社において生産能力増強工事を実施し、積極的な拡販施策に努めたことなどにより、出荷は前年を上回りました。

この結果、製粉事業の売上高は420億80百万円（前年同期比103.3%）、営業利益は23億61百万円（前年同期比69.7%）となりました。

②食品事業

加工食品事業につきましては、生活防衛意識の高まりから個人消費が低迷する厳しい環境がありますが、消費者の皆様のニーズにお応えした新製品の開発・上市や店頭での販売促進活動等に努めたことにより、家庭用小麦粉、プレミックス、冷凍食品等の出荷は堅調に推移し、売上げは前年を上回りました。中食・惣菜事業については、売上げ拡大に向けた取組みを推進しました。海外事業につきましては、昨年タイのプレミックス事業において生産能力増強工事及びR&Dセンターの拡張を実施するなど、成長を続ける中国・東南アジア市場を中心に事業拡大に努めております。

酵母・バイオ事業の酵母事業は、総菜、マヨネーズ類の売上低調を、イースト、ミネラル酵母、パン品質改良剤等でカバーし、売上げは前年並みとなりました。バイオ事業は、培養用基材、受託飼料等が低調で売上げは前年を下回りました。

健康食品事業につきましては、厳しい市場環境が続いておりますが、通信販売を中心とした消費者向け製品の拡販等に注力し、売上げは前年を上回りました。

この結果、食品事業の売上高は581億1百万円（前年同期比103.0%）、営業利益は38億86百万円（前年同期比112.2%）となりました。

③その他事業

ペットフード事業につきましては、拡販に注力したものの、消費の低迷や店頭価格の下落など引き続き市場環境は厳しく、売上げは前年を下回りました。

メッシュクロス事業につきましては、自動車部品業界の需要が停滞したことで化成品の売上げは低調でしたが、ステンレスメッシュクロスの需要拡大に支えられたスクリーン印刷用メッシュクロス、産業用資材の売上げは好調で、全体の売上げは前年を上回りました。

この結果、その他事業の売上高は83億88百万円（前年同期比97.0%）、営業利益は6億14百万円（前年同期比171.8%）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりです。

流動資産は1,976億49百万円で、現金及び預金と受取手形及び売掛金の減少、有価証券とたな卸資産の増加などにより、前年度末に比べ24億35百万円増加しました。固定資産は1,964億12百万円で、主に有形固定資産が増加したことにより、前年度末に比べ22億7百万円増加しました。この結果、総資産は3,940億61百万円で前年度末に比べ46億42百万円増加しました。また、流動負債は758億93百万円で、主に支払手形及び買掛金の増加により、前年度末に比べ14億64百万円増加しました。固定負債は301億41百万円で主に長期借入金の増加により、前年度末に比べ4億2百万円増加しました。この結果、負債は合計1,060億35百万円で前年度末に比べ18億66百万円増加しました。純資産は四半期純利益による増加と配当金の支出による減少などにより、前年度末に比べ27億76百万円増加し、2,880億26百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

わが国の経済は、全国的な電力不足や原燃料価格の高騰など、多くの課題に直面しております。また、引き続き雇用情勢は厳しい見込みで、景気の先行きも不透明であることから、消費者の低価格・節約志向が継続し、個人消費の低迷が予想されるなど、当社グループを取巻く環境も不透明な状況が継続するものと思われます。このような環境におきましても、当社は国民の主要食糧である小麦粉等の安定供給を確保し、各事業において安全な製品を供給するという使命を果たすと共に、グループの更なる成長を実現するため、国内においてシェアアップに注力し、コスト競争力を高める施策を推進します。また、併せて海外事業展開のスピードアップを図ってまいります。

以上の結果、当年度の業績見通しにつきましては、当初の予想を据え置き、売上高4,474億円（前年同期比105.5%）、営業利益は246億円（前年同期比97.1%）、経常利益は270億円（前年同期比97.0%）、当期純利益は151億円（前年同期比106.4%）としております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- （１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計基準等の改正に伴う会計方針の変更）

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、この変更による影響はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,938	50,037
受取手形及び売掛金	57,919	54,130
有価証券	24,744	29,847
たな卸資産	43,059	48,945
その他	11,875	14,982
貸倒引当金	△323	△293
流動資産合計	195,213	197,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	43,253	44,551
機械装置及び運搬具（純額）	28,438	28,201
土地	34,098	34,310
その他（純額）	4,665	5,121
有形固定資産合計	110,456	112,185
無形固定資産	3,756	3,753
投資その他の資産		
投資有価証券	69,597	69,855
その他	10,547	10,774
貸倒引当金	△153	△156
投資その他の資産合計	79,991	80,473
固定資産合計	194,204	196,412
資産合計	389,418	394,061

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,634	41,134
短期借入金	2,866	3,164
未払法人税等	4,992	3,198
引当金	258	65
未払費用	15,418	11,403
その他	14,258	16,928
流動負債合計	74,429	75,893
固定負債		
長期借入金	145	854
引当金		
退職給付引当金	9,360	9,341
その他の引当金	1,971	2,041
引当金計	11,331	11,382
繰延税金負債	11,371	11,112
その他	6,890	6,792
固定負債合計	29,739	30,141
負債合計	104,168	106,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,117	17,117
資本剰余金	9,450	9,452
利益剰余金	239,380	241,446
自己株式	△3,171	△3,168
株主資本合計	262,776	264,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,205	17,796
繰延ヘッジ損益	99	△24
為替換算調整勘定	△2,281	△1,938
その他の包括利益累計額合計	16,023	15,833
新株予約権	138	151
少数株主持分	6,311	7,191
純資産合計	285,249	288,026
負債純資産合計	389,418	394,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	105,780	108,570
売上原価	70,836	73,908
売上総利益	34,943	34,661
販売費及び一般管理費	27,699	27,869
営業利益	7,243	6,791
営業外収益		
受取利息	70	52
受取配当金	639	697
持分法による投資利益	177	145
その他	210	232
営業外収益合計	1,097	1,127
営業外費用		
支払利息	18	20
為替差損	106	43
その他	33	30
営業外費用合計	158	94
経常利益	8,181	7,824
特別利益		
固定資産売却益	—	70
受取賠償金	33	—
特別利益合計	33	70
特別損失		
固定資産除却損	163	43
投資有価証券評価損	—	43
減損損失	45	—
その他	7	2
特別損失合計	215	89
税金等調整前四半期純利益	7,999	7,804
法人税等	3,159	3,022
少数株主損益調整前四半期純利益	4,840	4,782
少数株主利益	452	230
四半期純利益	4,387	4,552

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,840	4,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,847	△408
繰延ヘッジ損益	△182	△76
為替換算調整勘定	726	426
持分法適用会社に対する持分相当額	△92	△57
その他の包括利益合計	△1,396	△116
四半期包括利益	3,443	4,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,834	4,362
少数株主に係る四半期包括利益	609	303

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

〔セグメント情報〕

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	製粉	食品	計				
売 上 高							
外部顧客への売上高	40,726	56,403	97,129	8,650	105,780	—	105,780
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,961	125	5,086	618	5,705	△5,705	—
計	45,687	56,529	102,216	9,268	111,485	△5,705	105,780
セグメント利益	3,388	3,463	6,852	358	7,210	33	7,243

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	製粉	食品	計				
売 上 高							
外部顧客への売上高	42,080	58,101	100,181	8,388	108,570	—	108,570
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,264	114	5,378	622	6,000	△6,000	—
計	47,344	58,216	105,560	9,010	114,571	△6,000	108,570
セグメント利益	2,361	3,886	6,248	614	6,863	△71	6,791

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間における剰余金の配当は、以下のとおりであります。なお、この他に該当事項はありません。

(配当金支払額)

平成23年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

- | | |
|------------|------------|
| ① 配当金の総額 | 2,485百万円 |
| ② 1株当たり配当額 | 10円 |
| ③ 基準日 | 平成23年3月31日 |
| ④ 効力発生日 | 平成23年6月29日 |
| ⑤ 配当の原資 | 利益剰余金 |